

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	小児援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	教室
担 当 教 員	日下部麻美 田中祥子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
小児期にみられる代表的な健康障害を持つ子どもの看護について、小児各期の発達の特徴をふまえて学習する。また、既習の基礎的知識を用いて健康障害をもつ子どもとその家族の看護過程の展開について学ぶ。 1. 健康障害のある子どもと家族の特徴を理解し、看護の役割が理解できる。 2. 事例を通して看護過程の展開ができる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70%(日下部50%、田中20%) レポート提出 30%(日下部)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院 参考書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院 看護診断計画ガイド 小児看護学概論で配布した資料を使用します。授業の際は持参してください。						
《授業外における学習方法》						
前半は、授業の最後に次回の予習プリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。 後半は、個人ワークが主体となります。計画的に進めましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
後半は看護過程の展開演習を個人ワークで行います。計画的に進めていき疑問点はその都度解決しながら進めましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝性疾患の子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考 に予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (30分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:代謝性疾患と看護			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患の子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考 に予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (31分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:内分泌疾患と看護			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギー、感染症の子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考 に予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (32分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:アレルギー、感染症と看護			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患の子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考 に予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (33分)
		各コマにおける授業予定	講義概要、授業の進め方 健康障害のある子どもの看護:呼吸器疾患と看護			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患の子どもの看護について述べることができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考 に予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (34分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:循環器疾患と看護			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎・泌尿器の子どもの看護について述べることができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考に 予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (34分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:腎・泌尿器疾患と看護		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器疾患、悪性新生物の子どもの看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論参考に 予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (35分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護:消化器疾患と看護 健康障害のある子どもの看護:悪性新生物と看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常のある子どもと新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論参考に 予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (36分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論参考に 予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (37分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 新生児の看護①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児の看護について述べるができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:各論参考に 予習プリントをまとめる (30分) 事後学習:授業の復習 (38分)
		各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護: 新生児の看護②		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	小児領域の看護過程の展開について概要がわかる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:患児疾患・治療・看護等学習 事後学習:患児疾患・治療・看護等学習
		各コマにおける授業予定	看護過程の進め方 看護過程の展開① 小児看護の看護を展開すること、事例紹介		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	成長発達段階の理解について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:成長発達記録 事後学習:成長発達記録
		各コマにおける授業予定	看護過程の展開② 事例1 成長発達段階の理解		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	情報収集と情報の解釈について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:気になる情報の分析・統合と問題の明確化 事後学習:気になる情報の分析・統合と問題の明確化
		各コマにおける授業予定	看護過程の展開③ 気になる情報の分析・統合と問題の明確化		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	情報収集と情報の解釈について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:成長発達記録 事後学習:成長発達記録
		各コマにおける授業予定	看護過程の展開④ 事例2 成長発達段階の理解		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	小児の看護過程の視点が理解できる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:気になる情報の分析・統合と問題の明確化 事後学習:気になる情報の分析・統合と問題の明確化
		各コマにおける授業予定	看護過程の展開⑤ 気になる情報の分析・統合と問題の明確化 まとめ		